

報告

令和8年6月12日

南箕輪村議会議長 笹 沼 美 保 様

まっくんバス運行等公共交通の見直しに
関する調査特別委員会

委員長 百 瀬 輝 和



委 員 会 中 間 報 告 書

本委員会に付託され調査・検討を重ねてきた、まっくんバス運行等公共交通に関する調査について、会議規則第45条第2項の規定により、別紙のとおり中間報告します。

まっくんバス運行等公共交通の見直しに 関する調査特別委員会中間報告書

令和 8 年 6 月

南箕輪村議会

目 次

1. 特別委員会開催日
 2. 調査・視察実施日
 3. まっくんバス新ルート運行の評価
 4. 地域公共交通先進地研修視察の報告
 5. 村全体の公共交通の現状と対策
- 別添資料：まっくんバス乗降調査結果

1. 特別委員会開催日

第6回：R8年5月8日

第7回：R8年5月22日

第8回：R8年6月5日

2. 調査・視察実施日

まっくんバス運行状況調査：R8年4月22日、23日、30日

先進地行政視察（茨城県東海村）：R8年5月18日、19日

3. まっくんバス新ルート運行の評価

当調査特別委員会は、3班に分かれて4月22日、23日、30日の3日間、新ルートである「北原―伊那弥生ヶ丘線」「南原―北殿駅線」「北殿―伊那支援学校線」の朝便・夕方便に乗車し、運行状況の調査を実施した（調査結果は別添）。朝便においては高校生の利用がある程度見られ、伊那支援学校の生徒による朝便・夕方便の利用が確認された。しかし、運行時間が限られているため、利用の無い便もある。現状の需要に合わせた運行時間や最短ルートの再検討が今後必要である。1便あたりの乗車人数は計画目標値に達していないものの、実車調査の結果から、本ルートはある程度の利用が見込めるものと評価する。今後は月ごとの乗車状況等を精査し、運行時間やルートの柔軟な変更が必要である。

4. 地域公共交通先進地研修視察の報告

当調査特別委員会は、5月18日、19日の2日間にわたり、茨城県東海村における公共交通の取り組みについて研修視察を行った。東海村の地域公共交通計画は、外部コンサルタントを利用せず、村民目線に立って協議会委員と職員が主体となって策定されている。現在は路線バスとデマンドタクシー「あいのりくん」が主な公共交通を担っている。特にAI予約システムを導入したデマンドタクシーは、安価で利用できるため需要が伸びすぎた面があるが、住民の利便性の高い移動手段として村全体をカバーし、広く活用されている。

5. 南箕輪村全体の公共交通の現状と対策

現在、南箕輪村全体の公共交通は、まっくんバス3ルート「北原―伊那弥生ヶ丘線」「南原―北殿駅線」「北殿―伊那支援学校線」、タクシー券（対象者限定）、福祉移送サービス（利用制限あり）、および南部地域限定の「ぐるっとタクシー」で構成されている。しかし、タクシー券や福祉移送サービスは利用者が特定の対象者に限定されており、「ぐるっとタクシー」も地域限定の運行である。また、まっくんバスも通学・通院を想定した朝夕のみの運行にとどまっている。村民からは「買い物に行けなくなった」「大芝の湯に行けなくなった」「役場に行けなくなった」といった切実な声が寄せられており、村全体を見渡すと、多くの村民に等しく行き届いた移動手段が不足していると言わざるを得ない。先進地の事例を見ても、目的地が同じ多数の乗客を運ぶ「路線バス」と、個人の目的に応じて移動する「デマンドタクシー等」の組み合わせが効果を発揮している。本村の公共交通においては、特に移動手段を持たない村民への対応をどうするかが早急に問われている。先進地の事例に倣い、利用者の目的に合わせて柔軟に移動できる小回りの利く移動施策の導入が急務である。

これらを踏まえて、地域公共交通協議会等においては、南箕輪村地域公共交通計画の見直しと、まっくんバス運行継続の是非や近隣自治体との連携も含めた公共交通のあり方を、令和8年中に協議されたい。施策の実現には財政措置が伴うため、利便性の向上だけでなくコスト面とのバランスも十分に考慮する必要がある。また、実施にあたっては運行事業者との丁寧な交渉も不可欠である。

以上、一刻も早い具体的な施策の展開を要望する。

まっくんバス乗降調査 1 班（百瀬、太田、唐澤）

乗降者状況

4 月 22 日南原→北殿駅（夕方便）

停留所	乗車	降車
合計	0	0
4 月 22 日伊那支援学校→北殿		
停留所	乗車	降車
伊那支援学校	6	
大芝神社前		1
北殿公民館		1
北殿		1
北殿駅		1
ベルシャインニシザワ前		2
合計	6	6

4 月 30 日北殿駅→南原（朝便）

停留所	乗車	降車
合計	0	0
4 月 30 日北殿→伊那支援学校		
停留所	乗車	降車
ベルシャインニシザワ前	1	
北殿駅	4	
北殿	2	
泉橋	5	
南田橋	1	
伊那中央病院		3
県立南信工科短大		2
伊那支援学校		8
合計	13	13

- ・南原→北殿、南原→北殿に乗車した人は無し。
運転手からはこの便は殆ど乗客がない。たまに乗る人が一人いるようだ。
- ・西箕輪線との競合があるのではないか。
- ・以前の大芝の湯へ行く便には南原から相当数の利用者がいた。
- ・伊那支援学校からは支援学校の生徒が乗車。
- ・ベルシャインニシザワ降車後、迎いの乗用車有り。箕輪町方面へ行く。
- ・朝、北殿駅で降車した人は JR 乗り換え利用者が 3 人と推測される。

まっくんバス乗降調査 2 班（都志、山崎、笹沼）

乗降者状況

4 月 22 日南原→北殿駅

停留所	乗車	降車
沢尻南	1	
伊那バスターミナル		1
合計	1	1

4 月 22 日北殿→伊那支援学校

停留所	乗車	降車
ベルシャインニシザワ前	2	
北殿駅	3	
北殿	1	
南殿	3	
南田橋	1	
伊那中央病院前		3
県立南信工科短大		1
伊那支援学校		6
合計	10	10

4 月 23 日北原→伊那弥生ヶ丘高校

停留所	乗車	降車
大泉公園	2	
北殿駅	2	1
北殿公民館	4	
中部保育園	2	
西北殿	1	
大泉東	1	
高根	1	
堀田内科クリニック前	1	
福祉ゾーン入口		2
上伊那農業高校		4
高尾町（伊那北高校）		2
伊那弥生ヶ丘高校前		5
合計	14	14

- ・運行時間などに問題無く運行できている。
- ・ベルシャインニシザワ前の停留所にて箕輪よりの乗り継ぎの乗車がある。
- ・運行時間は高尾町（伊那北高校）までは遅滞がないが、市街地に入り信号に左右され遅滞が起こり、終点の伊那弥生ヶ丘高校前には 10 分程の遅れとなる。
- ・8 時 45 分の始業時間に間に合わせる必要性があり、運行時間短縮の検討が必要。

まっくんバス乗降調査 3 班（西森、原、三澤）

乗降者状況

4 月 22 日北原→伊那弥生ヶ丘高校

停留所	乗車	降車
大泉公園	2	
北殿駅	2	2
北殿	2	
北殿公民館	2	
大泉	2	
水上	1	
福祉ゾーン入口		2
堀田内科クリニック前	1	
南信		2
中央病院		1
上農高校		3
伊那弥生ヶ丘高校前		2
合計	12	12

4 月 22 日伊那弥生ヶ丘高校→北原

停留所	乗車	降車
伊那弥生ヶ丘高校前	2	
堀田内科クリニック前		1
福祉ゾーン入口	2	
大芝神社前	1	
大泉東		1
北殿駅		2
大泉公園		1
合計	5	5

- ・北殿駅周辺の混雑と、国道 20 号（153 号）への合流・右折待ちによるタイムロス。
- ・大泉地区の狭い道路におけるグリーンゾーン侵入の危険性。
- ・堀田内科駐車場での取り回しの難しさ。
- ・深刻な人手不足。朝夕の分離運行により、拘束時間や勤務シフト（翌日の高速バス等）の調整が厳しくなっている実態。
- ・タクシー券の利用案内が十分でない（高原医院からの徒歩帰宅例）。
- ・バス同士の接続の悪さ。
- ・夕方方は帰りの時間に合わないお生徒もいる。
- ・改正道路交通法により狭い道の制限速度が 30Km/h となることの遅延。

4月22日 まっくんバス乗車調査報告（詳細）

調査便 朝便 北殿公民館 7:43 発 → 伊那弥生ヶ丘高校 8:35 着
夕方便 伊那弥生ヶ丘高校 16:35 発 → 北原 17:32 着

運転手の話（朝便）

- ・新ルートになり、朝は早く、夕方は遅くなったため、家を出てから帰宅するまで長時間拘束される。昼間は他の仕事が入り、翌日は午前4時出発の高速バス運転となるローテーションである。
- ・北殿駅はバスが停車することで混雑が激しいため、出発3分前に入るよう待機している。
- ・通勤時間帯は国道への合流や春日街道の渋滞があり、遅れないよう、また事故のないよう気を使って運行している。

運転手の話（夕方便）

- ・以前は4人でローテーションしていたが、便数が減ったことで現在は3人となった。そのため、まっくんバスの長時間勤務の翌日に午前5時発の高速バス運転となることもある。
- ・「村での運行に戻し、伊那バスは手を引いてほしい」という声もあった。

利用者の状況

① 支援学校本校1年生1名

朝は大泉公園で乗車し、北殿駅で下車。北殿駅で支援学校行きに乗り換える。帰りは、支援学校が15時に下校となるため、16時発まで時間があり、また自宅近くに停留所がないことから、弥生ヶ丘線の大芝方面を利用している。大芝まで歩いて16時56分発の便まで約2時間待ち、大芝神社前から乗車し大泉公園で下車している。

② 支援学校中原分校生徒2名

北殿駅から乗車し、上伊那農業高校で下車。

帰りの16時47分発便には乗車していなかった。15時下校との時間的なずれが問題となっている可能性があり、調査が必要である。

③ 福祉ゾーン利用者 2 名

北殿駅から乗車し、福祉ゾーンで下車。リネン類の洗濯業務を行う「エール」(R7 年 10 月開所の B 型作業所)に勤務している。帰りも福祉ゾーンから乗車していた。

④ 一般利用者 2 名

大泉で乗車し、南信病院で下車。

⑤ 伊那弥生ヶ丘高校 1 年生 2 名

北殿公民館から 1 名、堀田内科クリニックから 1 名が乗車し、伊那弥生ヶ丘高校で下車。帰りも 16 時 35 分発の便で乗車していた。部活動は行っていないとのこと。

⑥ 一般利用者 1 名

北殿駅から乗車し、中部保育園で下車。

参考：村民の声

- ・民生委員からの話では、北殿の一人暮らしの高齢女性が大芝方面へ行くために利用していたバス路線がなくなり残念がっているとのこと。朝は堀田内科クリニックまで乗車したが、帰りは徒歩で帰宅した。
- ・免許を返納した 90 歳の男性は、買い物に利用していたバスがなくなり困っている。現在は知人に弁当を買ってきてもらっている。
- ・大泉の 60 代女性は、「自分は車を運転できるが、育苗ハウス付近のバス停までは遠い。しかも朝夕だけの運行では利用する人はいないと思う」と話していた。
- ・北殿中河原地区の女性は、「今度のバスは本当に不便になった。今はまだ自分で運転しているが、困る人がたくさんいる。見直してほしい」と話していた。